

湘南散策 新たな足に

F)を開始した。電動キックボードはフル充電で走行距離が約50キロと長く、小回りも利くことから、「新たな湘南散策の足」として本格的な導入を目指す。

(宮崎 功一)

自転車やアウトドア用品のレンタルなど観光客支援サービスを展開するNPO法人湘南ローカルウェーブ(藤沢市片瀬海岸)が、電動キックボードのレンタル事業を立ち上げるため、クラウドファンディング(C

同法人の山寺秀明理事長

(55)は、「二酸化炭素(CO₂)を排出しないゼロエミッションの移動手段を代表する自転車で「潮風、波の音、海の香りを全身で感じながら、湘南をゆったり散策してほしい」と、レンタサイクルをメインに2018年に同法人を設立。

電動キックボードについては、湘南エリアを多様なルートで快適に巡る移動手段として着目。昨年末から試験的に2台を導入した。平日は1時間1200円、土日祝日は同1500円で貸し出している。

電動キックボードは道交法上は原動機付き自転車扱いで、走行の際には運転免許証やヘルメットの装着が必要となる。しかし、地元藤沢市で自転車レーンを走行する実証実験が行わ

電動キックボード レンタル事業へCF

れるなど、自転車程度の速度なら免許とヘルメットの着用を不要にするといった規制緩和の動きが出ています。

こうした動向を捉え、国内での普及拡大や利用者の増加を見据え、CFによって6台を確保し、湘南観光の主要なツールに育てたいと考えた。CFは4月2日に開始し、6月20日までの間に初期費用120万円を調達することを目標にしている。4月30日現在、31人から約42万円が集まっています。



藤沢市のNPO法人の規制緩和見据え始動

新たな移動手段として電動キックボードに着目しCFを開始した山寺さん

藤沢市

る。CFの返礼には年間フリーパスなどを予定する。山寺さんは電動キックボードについて「渋滞が激しい沿岸の幹線道路から離れ、海街の路地裏や古都の街並みを巡る際に最適な移動手段。ゼロエミッションで騒音もない」と指摘。走行距離が長い利点を生かし、同市の片瀬海岸から鎌倉や逗子など海沿いの散策や、鶴沼から辻堂、茅ヶ崎まで足を延ばすといった活用法を提案。「新しい湘南の魅力の発見につながる。コロナ禍で密を回避する移動手段としても優れている」と話している。詳細は湘南ローカルウェーブのホームページ。